

第9期香美市高齢者福祉計画等策定委員会

1. 開催日時 令和5年9月22日（金）午後6時30分から
2. 開催場所 香美市役所5階委員会室3
3. 議 題
 - ① 会長及び副会長の選出
 - ② 第9期計画の要点と香美市の現状
 - ③ 第8期計画の重点施策に関する評価
 - ④ アンケート調査結果
 - ⑤ 計画策定スケジュールについて

4. 議 事 録

事務局	開会挨拶
市長	市長挨拶
出席者	出席者自己紹介
事務局	配付資料の確認
事務局	<p>① 会長及び副会長の選出</p> <p>正副会長の選任についてお諮りします。香美市高齢者福祉計画等策定委員会要綱第5条第1項の規定により、会長及び副会長につきましては委員の互選により定めることとされております。立候補、または推薦される委員はいらっしゃいますか。</p> <p><立候補、推薦なし></p> <p>いらっしゃらないようですので、事務局に一任させていただくということで、ご異議はございませんでしょうか。</p> <p><「異議なし」の声></p> <p>ご異議がないようですので、事務局案を提案させていただきます。</p> <p>会長を弘末俊郎委員に、また、副会長を小松謙介委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p><「異議なし」の声></p> <p>ありがとうございます。会長を弘末俊郎委員に、副会長を小松謙介委員にお願いすることに決定いたしました。</p> <p>それでは、会長と副会長にはそれぞれ会長席及び副会長席に移動していただき、以後の議題につきましては、会長に進行していただきたいと思います。</p>
会長	会長挨拶

事務局	② 第9期計画の要点と香美市の現状 資料1に基づき説明
会長	第9期計画の要点と香美市の現状について説明がありましたが、なかなか範囲が多岐に渡って又且つ非常に専門的でなかなかすぐには理解できないことがあるかと思えます。9期計画の要点が最初の方に3ページくらい出ておりますので、その中で高齢者福祉計画・介護保険事業計画について重点的に整理していただきたいということと、また何かあれば提案していただいたらいいんじゃないかと思えます。なかなか専門的な数値で質問をしにくいのが現状ではないかと思えますが、何かご質問ご意見ございませんでしょうか。なかなかすぐに全部理解することが難しい点があるかと思えます。また帰って次の会、全体で4回会がありますので、何かこの部分が聞きたいとか、この点で意見があるということがありましたら、次の会でもご質問していただいて回答があると思えますので。高芝先生、全体的にご質問ご意見いただけますでしょうか。
高芝委員	少し整理したいのですが、数値から見て、香美市は高知県、全国と比較してまだまだ在宅サービスが進んでいない印象なのではないでしょうか。
事務局	進んでいないとまでは言えませんが、まだ途中であると。まだ在宅サービスを充実させる余地があるのではないかと考えております。
会長	他何かご意見ございませんでしょうか。なんでも。
田島委員	今要介護とか認定されてから施設とかには十分入れていますかね。そこへ入れていない方とかいうのは現状としてどうでしょう。
事務局	この後アンケート調査結果の後でも、詳しくお話しさせていただきたいと思っております。
会長	その他何かご意見ございませんでしょうか。なければ次の議題に移りたいと思えます。次の議題は、第8期計画の重点施策に関する評価ということで8期計画の進行状況反省点等があるかと思えますので、それをまたご説明いただいてからご質問いただきたいと思います。
事務局	③ 第8期計画の重点施策に関する評価 資料2に基づき説明
会長	ありがとうございました。第8期計画の重点施策に関する評価ということで事務局から説明がありました。これもなかなか専門的で中身が分かりにくいこ

<p>山中委員</p>	<p>ともあろうかと思いますが、何かご質問ありませんでしょうか。</p> <p>1つお礼といいますか触れておきたいところは、市として従来の健康介護支援の部分から体制的に強化をいただいて、健康推進課と高齢介護課という形で分けていただいたということで、そういう面でいえば体制的には強化いただいたということで評価したいと思います。ただ資料2の1ページにありますように、体制はあっても具体的な人員確保ができていないというところは、前回でも話をしたと思いますが、やはり目標に対する達成度といいますか実績がなかなか困難性があると。確かに人の確保は難があるところがあるかと思いますが、例えば行政職なんていうのは市がやろうと思えばできるのではないかという風に思うんですね。市としてもぜひこういう面に重点的に人材を配置してもらいたいという思いが強いです。今後ともそういう面はぜひよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それとちょっと全然変わりますが、この3年というか非常にこうコロナの影響を受けて、色々な面で影響がありました。特に高齢者等については、閉じこもり等があつて持病がすすんだとか、外に出ない、色々な面で影響が大きかったという風な反省があります。そういう面で、1つはですね最近コロナの情報が全然市民にはおりにこないですね。保健師さんもおいでてますので、香美市近辺のコロナの状況はどうかということがもし分かればお聞かせいただけたらと思います。最近都会の方は非常に増えて、インフルと一緒に発生がまた伸びているということも聞きますが、その辺香美市の状況はどうかというあたり分かればお聞きしたいと思います。特にコロナで考えますと、保健所さんのせいではないです、県が悪いです、体制が悪い。結局保健所の人材を減らして減らして、こういう地域医療の体制を弱くした結果が一因ではないのかという風にも言われています。きつい言い方かもしれませんが、将来のこういった感染症とか対策を踏まえた地域医療、地域の保健の体制というものをやはり強化していただかないといけないという風に思います。その辺も含めて、よければ保健師さんの方からお話いただければと思います。以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>まず人員につきまして、色々アドバイスもこれまでもいただいているようでありありがとうございます。組織につきまして、市長になりましてから心を配って色々やらせていただいているところではあるのですが、なかなか体制が追い付かないところはですね、今後またしっかりと取り組んでいきたいと思ひますし、今職員がかなり頑張ってくれています。その頑張りを皆様方からも応援していただければ、現場の士気も上がるかなと。市長として手前味噌でありますありがとうございますということで、職員には声をかけています。またコロナの状況はちょっと市としては把握していないのですが、ちょっと学校現場とかは確かに増えているような状況はあります。これがなかなか悩ましくてコロナの状況というところはあるのですが、香美市の考え方としては、行事とかはですねできるだけやろうということで敬老会とかも今年はやっていこうという</p>

<p>尾木委員</p>	<p>風に思っていて、悩ましいというのが正直です。やはり数字として出すとまた閉じこもりみたいな形で皆が家にいるというのも状況として良くないのではないかと思っておりまして、救急とか重症化しないというところが1つの指標という風になるかなとは思っておりまして、市として積極的に今危険だから注意してくださいというようなことは、私自身の考えとしては今のところ考えていない状況です。ただ仰るように、学校現場とかはちょっと増えている状況はございます。</p> <p>保健所の尾木です。コロナに関しては、本当にこの3年間増えたり減ったりというなかでやってきたんですけれど、特にやはり今の現状としたら保健所の方に10人以上の集団発生があった場合には連絡が来ています。ただ発生届と言いまして全数の把握するしくみにはなっていないので、本当に全数施設全部でどこで起きたというような把握がされていないので、保健所の方も全容はよく分からない状況です。ただ今定点把握ということで、地域の代表的な医療機関の方でどれくらいコロナの患者さんが発生したというようなことを報告が週1回あって、それが金曜日の高知新聞の方にも出ていますけれども、地域の発生状況というところで報告があっけていますけれども、直近の情報では前週よりちょっと減っているというようなことがあります。ただ皆さんも周りの方を見ていただいたら若い方なんかで症状が出ない方とかちょっとした症状なんかで落ち着いた方なんか医療機関に行かなくなっているの、本当に高い熱が出て受診をしてお薬をもらわないといけなぐらいの人が今病院に行っているというような状態で、隠れた感染者っていうのは非常に多くなっています。ただ、非感染者も増えてきたので、感染力は強いですが皆が皆発症するといった状態ではないです。ただやはり、この4年間私も高齢者施設の支援をしてきて、周りでコロナが流行ってきて小学校中学校で流行ってきてやっぱりちょっと遅れて高齢者の関係の人とか施設の入所者に広がっているような状況があります。そのなかでやっぱり高齢者の方が後で出てきて、救急にかなり負担がかかっていたりとかいうような現状も出てきていますけれども、今入院の調整自体も保健所がやっていないので、コロナだけではない一般の救急なんかで病院の方がいっぱいというようなこともあったんですが、全容は分からないんですけども保健所の中でもコロナの入院を受け入れてくれる医療機関と情報共有したりとかいうようなところであるとか、高齢者の施設からの発生届で少し状況を把握しているような状態です。この評価の中にはコロナのことがやはり一番大きな影響があったのでコロナということで書かれていますけれども、他にも高齢者施設の中でこれまでもノロであるとかインフルエンザというところで集団発生というところは時折起こってはきているので、一定の感染対策というのは継続していかないとけないというところはありますけれども、一方で先程お話が出ていたようにこの3年間、ちょっと前の話にも戻るんですけど、大体見込み通りっていうお話があったんですけども、やはりコロナの影響で利用控えであるとか、ちょっと他の地域で聞いたのは、施設の中でコロナの感染の</p>
-------------	---

	<p>方が多く発生したということで一部亡くなられた方もあるけれども、その時は亡くなられなくても、体調を悪くして入退院を繰り返して結局長期にはならないけれども短期の入院を繰り返したりとかして施設のサービス利用量が減ったというような話も聞いたりもするので、この計画の中でもやっぱりコロナの影響というのはあったんじゃないかなというようなこともありますし、ただやっぱり閉じこもりっていうところで今まで通りのサービスというのを提供していかないといけないというようなところもあるかなと思います。</p>
会長	<p>山中委員、よろしいでしょうか。なかなか微妙な人員のことや人事の話ができました。その他ご質問ご意見ございませんでしょうか。</p> <p>なければちょっとだけ質問でもないんですが、確認ということで。まず1ページの8期計画で15の施策を重点施策として設定したとありますが、前の52ページでは7つの施策の柱があるという表現がありますけれども、15というのはどこを指しておるのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。施策体系として施策の柱は7つあります。その中でそれぞれ施策名を緑色の計画書(第8期計画書)でいうと57ページ以降で施策の内容が出ているんですが、例えば今回1番目に載せております地域包括支援センターの運営機能強化につきましては、58ページのところの施策名のところに黒で塗って白字になって重点施策というところで香美市の方がこれを重点施策として挙げていくという風に決めているものが15あります。これについて、今回については評価をお示ししたところです。</p>
会長	<p>黒字というのは、この重点施策と書いているところですか。それが15あると。</p>
事務局	<p>はい、そうです。</p>
会長	<p>もう1つすみません。この2ページ目の3の権利擁護センター・中核機関の設置とあります。中核機関を設置して今現在広報とか啓発活動を包括さんと福祉事務所さんが協力してやられておるといふ現状と書いておりますよね。この下にある国の第2期成年後見制度利用促進基本計画にある報酬助成対象者の拡充、これはどういう意味なんでしょうか。報酬助成対象者のことについてですが。</p>
事務局	<p>今現在、香美市の方では報酬助成の対象を市長申立の方に限らせていただいているんですが、国の方からはご本人だとかの申立に対しても報酬助成の対象としていくような方向で検討してもらいたいというのがずっと下りてきておりますので、そういう市長申立に限らず本人、家族の申立でも報酬の助成の対象にしていくということを検討するという形です。</p>

会長	それと5ページの12の介護人材確保に関する市の独自施策の検討というところで、市内の訪問事業者と意見交換会を実施しましたと。これは毎年実施をしているわけなのでしょうか。
事務局	違います。令和3年度に実施させていただいて、そこのご意見を受けて中学生対象の出前授業を実施したりとかですね、助成事業の方を実施したりという形で。意見交換会については令和3年度に1度行っております。
会長	その最後の助成金交付事業というのは具体的に何を？
事務局	はい。訪問事業所のヘルパーさんは初任者研修を受講していないとヘルパーとしてできないということで、まず初任者研修を受ける受講料がなかなか高額でお仕事に就職される前に受講して資格取って、じゃあ就職できるかということとそこがちょっと難しいハードルということを意見交換会の時にもお伺いしましたので、そこについて事業所さんの方が受講料をみていただく場合につきましては、その事業所につきましては5万円を限度として香美市は助成させていただいているという事業になります。
会長	資格取得のための、ですね。国庫の補助制度みたいなものはない？
事務局	はい。今のところそれはないので、香美市単独でやらせていただいております。
会長	どこの事業所もそうだと思いますが、特に訪問介護につきましては人材確保というのが非常に困難。このあいだ新聞へも出ておりましたが、社会福祉協議会でも南国と佐川でしたかね、やめたというような記事も出ておりました。香美市社協も数年応募しておりますが、なかなか応募してくれないというのが現状で、ならどうしているかということツテですね、今いるヘルパーさんの友達とか知り合いとかそんな感じで確保しているのが現状です。非常に日々苦慮しております。 それともう1つ。最後ですが、中山間で中山間補助金を、非常に有り難い補助金を作っていただいておりますが、あの中で常勤の職員を雇ったら5%アップという規定があったように記憶していますが、あれはまだ私の事務所では使ったことはないんですが、あれはただ確保すれば常勤の職員を確保したら5%アップと、全体の。そんなイメージですか。
事務局	ちょっと要件が、すみませんいくつかあって、たぶん常勤の5%は香美市はどこの事業所さんも使われていないと思います。詳しいところが今日はちょっと要綱等が手元にないのでまた提示したいと思います。

会長	<p>またよろしく申し上げます。それと最後の最後14番KDB等を活用した事業展開という表現で、コンサルタントな表現だと思いますが、国保データベースの話だと思いますが、注釈とか分かりやすい感じでお願ひします。</p>
事務局	<p>はい、分かりました。ありがとうございます。</p>
尾木委員	<p>すいません、先程の感染症のところで大変なことを、この感染症のところ、保健所が全数把握の時には施設の支援とか在宅の方の療養っていうところの管理をしてたんですけれども、その時に大変高芝先生にお世話になりまして、医療を持っているところと介護療養継続していくところには要になってですね、そこを本当に両輪だなと思いますので、やっぱり医療機関・関係機関との連携が大事というところと、あとですね入院がなかなかできなくなってきた時に、保健所の中でも人員がなかなか先程も足りない中でやっていたというお話がありましたけれども、市町村さん特に3市での療養の数が多かったんで、香美市の包括の方々にも情報共有をしながらですねちょっと見に行ってもらったりというようなことも実際ありましたので、これから今後ですね、また同じようなことが起きた時には本当に市町村とも連携しながら、保健所の専門的なところも一緒にお伝えしながら在宅支援をしていかないといけないなというところを思っております。</p>
会長	<p>その他ご質問ないでしょうか。なければ時間もあれですので、次の議題のアンケート調査結果に移ります。このアンケート調査結果もかなりの量ですので、割愛して簡単によろしくお願ひします。</p>
事務局 (萩野)	<p>④ アンケート調査結果について 資料3に基づき説明</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。これもなかなか内容が多岐にわたってなかなか理解しにくい分析だと思いますけれども、特に田島さんから質問がありました施設にいる者に難易度といいますか、田島さん先程の説明で理解できたでしょうか。</p>
田島委員	<p>はい、大丈夫です。あの別の質問で、全体的にこう最後の端の従事されている方の介護実態調査全体ですが、外国の方の人材を入れている施設がございますけれども人員は特に掘めてますかね。</p>
事務局	<p>そうですね。そこに外国人の方が入ったようなこの調査がなかったと思いますので、今回の調査では少し難しいかと思いますが、香美市に限ったことでいえばまた追って調査というか人数については把握できますので、よければ。</p>

田島委員	調査できるのでしたら、会にもようばないので教えていただいたら。
事務局	分かりました。
田島委員	あともう1点ですけれど、この採用者数176人、離職者数179人というマイナス算定の数字が出てますけど、この数字自体は色々表に出てますけれど25ページからずっと色々な実態が出ていますけれども、原因となるものが特に把握はされていないですかね。
事務局	そうですね、すみません。ちょっと原因については把握出来ておりません。
田島委員	了解しました。
会長	その他何か。
尾木委員	すみません。最後の3つの調査なんですけど、3市で合同で行ったということで3市突っ込みの全体の数字になっていると思うんですけれども、ちょっとやはり施設の形態も、例えば香美市さんであればサービス付き高齢者向け住宅は香美市さんにしかないとか、グループホームであれば香南、南国の方が多いとか、ちょっと3市によって特徴があるかなとは思いますが、香美市の内訳の数字もたぶん業者さんは持っていると思うんですけれども、全体の傾向3市の割合とかは見れると思うんですけど、香美市の実数でも良いと思うんですけれども、特徴とかいうのが見れた方が次の施策に活かしていけるのではないかなと思います。特にやっぱり在宅生活改善調査のところなんかは、特にやはり香美市ならではの課題がもうちょっと出てくるのではないかなと思いますので、またちょっとご検討いただけたらと思います。
事務局	ありがとうございます。特養とか広域にわたる部分もありましたので、3市で一応結果は出ておりますが、市ごとでも出せると思いますのでまたアドバイスいただいたとおりで結果を出したものを次回お示しできればお示しさせていただきます。ありがとうございます。
会長	その他何かご質問ございませんでしょうか。このアンケート調査もかなりのボリュームを調査されてるので、先程の香美市の現状みたいな膨大な資料ですので、また次の機会に質問ということもあろうかと思いますが、何かありましたらまた調査というか読んでいただいて次の機会に引き継ぐということでお願いしたいと思います。 それでは、最後の議題だと思いますがスケジュールにつきまして説明をお願い致します。

事務局	⑤ 計画策定スケジュールについて 資料に基づき説明
会長	<p>スケジュールについては以上でございますが、何かご意見ご質問ございませんでしょうか。あと3回ということですね。内容が多岐に渡って非常に膨大なまた専門的な知識を必要とする事柄が多いと思います。なかなか理解しにくい点もあろうかと思いますが、いろんな住民団体あるいは施設それから事業所いろんな要望もあろうかと思いますが、市役所に対し、財源の問題もあるかと思えますので、あれもこれもと言ってもなかなか実現は不可能ではなかろうかとも思いますが、重点的にこれをお願いというようなことを、またこの資料も読まれて次回あたりにご意見をいただければ、今いる皆さんもこの会が意義あるものになるのではなかろうかと思っております。以上です。</p> <p>それでは、議題についてはすべて終了しましたので事務局にお返し致します。</p>
事務局	<p>弘末会長、小松副会長どうもありがとうございました。それでは、策定委員会の閉会にあたりまして高齢介護課長の中山よりご挨拶申し上げます。</p>
課長	【高齢介護課長 挨拶】
事務局	閉会挨拶